

南幌町の主な取り組み



基本方針	基本施策	推進事業	個別事業	
1 収益性の高い農業の確立	①農産物の安定的生産の促進	農業振興補助金交付事業	農業振興補助金交付事業	
		道営経営体育成基盤整備事業	道営経営体育成基盤整備事業	
		農業経営高度化促進事業	農業経営高度化促進事業	
		スマート農業推進事業	R T K 基地局運営事業	
	②農業生産基盤の整備推進	その他	経営所得安定対策等推進事業	
			耕地利用高度化推進事業	
			有害鳥獣対策事業	
			農業気象情報システム管理事業	
	③有害鳥獣による農業被害防止対策の推進		家畜伝染病自衛防疫推進事業	
2 経営基盤の強化に向けた担い手の育成	①農業経営基盤の体質強化	農業制度資金利子補給事業	農業制度資金利子補給事業	
		担い手育成対策事業	強い農業・担い手づくり総合支援交付金	
			4 H クラブ活動支援	
			グリーン未来塾	
	②農業担い手の育成・確保		農婚塾	
	新規就農支援事業	農業次世代人材投資事業		
		新規就農者支援住宅貸付事業		
		新規就農者招致サポート事業		
		③多様な担い手の確保		ふるさと就農促進給付金事業
	ふるさと就農促進給付金事業	ふるさと就農促進給付金事業		
3 消費者との交流と食育の推進	①農産物の販路拡大と地産地消	地産地消活動推進事業	アグリビジネス推進会議・花仙人への支援	
		都市との交流販路拡大事業	キャベツキムチ町民還元事業	
			農産物加工施設管理事業	
			グリーンツーリズム推進事業	
	②食の安全・安心の確保	食育活動推進事業	農産物 P R 対策事業	
			都市住民との農業体験交流事業	
			親子農業体験塾	
			バケツ稲づくり学習	
	③「食」と「農」が連携した食育の推進		地元農産物を利用した料理教室	
			子育て支援米支給事業	
4 環境と調和した活力ある農村の構築	①環境対策の推進	多面的機能支払交付金事業	多面的機能支払交付金事業	
		環境保全型農業直接支援交付金事業	環境保全型農業直接支援交付金事業	
	②農村環境の総合的な整備	その他	耕地防風林事業	

南幌町農業振興ビジョン

《概要版》

〔令和2年度～令和11年度〕

南幌町農業振興ビジョン策定にあたって

農業は、私たちが生きていく上で欠くことのできない食料を生産する大切な産業であり、国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全、良好な景観の形成、文化の伝承など多くの役割を果たしております。

農業を取り巻く現在の情勢は、厳しく混沌としています。農家の担い手不足や高齢化に伴って、農業産出額は大きく減少し、今後もその傾向は続くと考えられます。昭和45年に始まった米の生産調整が平成30年度をもって廃止されるなど、戦後から続いてきた農業政策は、今まさに大きな転換期を迎えており、町の今後の農業政策については、国や北海道の支援を受けながらも、社会の時流を捉え、独自にその未来を切り開いていくことが求められています。

このような状況の中、農業を活気あるものにし、多くの町民が農業に希望を抱ける町としていただくためには、農家・農業関係者・町民等が一丸となって農業振興に向けた取り組みを推進する必要がありますが、その際の目指すべき方向を指し示すものがこの「南幌町農業振興ビジョン」です。

本町農業の未来を見据え、産業としての持続的発展と美しい農業景観、誇りある農村文化を後世に継承するために、多くの人たちによって本町農業を支えあうとともに、若者が職業として選択できる魅力ある農業を推進してまいります。

南幌町長 三好 富士夫

南幌町農業振興ビジョン【概要版】

令和2年3月発行

発行者：南幌町 北海道空知郡南幌町栄町3丁目2番1号 TEL 011-378-2121 編集者：南幌町産業振興課農政グループ

ビジョン策定の趣旨

「南幌町農業振興ビジョン」は、昭和 60（1985）年に策定した第 1 期南幌町農業振興計画及び平成 23（2011）年に策定した第 2 期南幌町農業振興計画の理念を踏襲するものです。

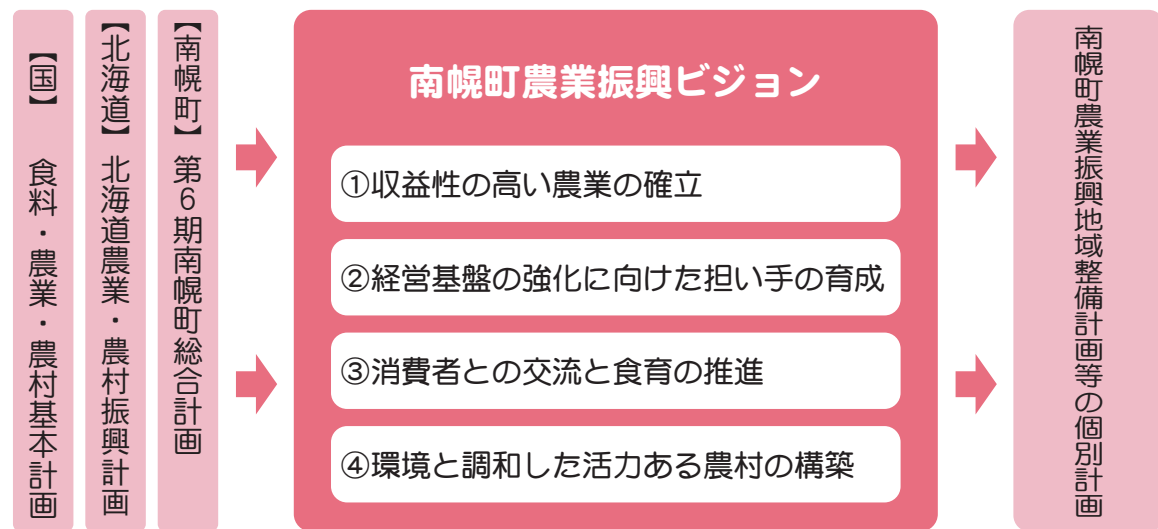
本町の基幹産業である農業を将来にわたり持続発展させるとともに、農家が真に豊かさを実感できる農業を実現するため、その指針となる「南幌町農業振興ビジョン」を策定しました。

ビジョンの期間

「南幌町農業振興ビジョン」は、本町農業に関する中長期的な指針であるという性格を踏まえ、令和 2（2020）年度から令和 11（2029）年度までの 10 年間の計画としますが、情勢の変化や計画の効果等を踏まえ、5 年を目途に見直しを行うものとします。

ビジョンの性格

第 6 期南幌町総合計画を基本とし、国の「食料・農業・農村基本計画」や北海道における「北海道農業・農村振興推進計画」との整合性を図るとともに、各種農業個別計画を踏まえ、農業者・消費者・農業関係機関とともに連携して策定しています。



南幌町農業の課題と方向性

①収益性の高い農業の確立

【南幌町の課題】

- 安定した所得確保と転作田による病害虫等の連作障害を回避するためにも、水稻を中心とした輪作体系を維持する必要があります。
- 安定的な農業経営の確立を図るためには、計画的な区画整備などの基盤整備を行う必要があります。
- スマート農業の普及促進に向けて、導入効果を生産者に対し周知し、理解を求めていく必要があります。
- 有害鳥獣による農作物の被害が深刻化しています。

【今後の方向性】

- 《農産物の安定的生産の促進》
- 水稻を中心とした輪作体系確立への取り組みを推進します。
 - 安全で高品質な畑作物の安定的・計画的生産を推進します。
 - 野菜・花きは、収益性の高い輪作作物として高品質な農産物の安定生産の取り組みを推進します。
 - 家畜伝染病の発生予防等ための検査や監視の徹底を図り、的確かつ効率的な家畜衛生対策を推進します。
- 《農業生産基盤の整備推進》
- 生産基盤整備を計画的に行い、経営基盤の強化を促進します。
 - I C T（情報通信技術）を活用した生産体制の高度化と、効率的な農作業の実施体制に向けた取り組みを推進します。
- 《有害鳥獣による農業被害防止対策の推進》
- 有害鳥獣による農作物被害対策のため関係機関・団体等との連携による被害防止に向けた取り組みを推進します。

②経営基盤の強化に向けた担い手の育成

【南幌町の課題】

- 農家戸数や農業従事者の減少による担い手不足に対応するためには、農業後継者となる新規学卒者やUターン者、新規参入者、さらには認定農業者や農地所有適格法人など多様な担い手の育成・確保が必要です。
- 農業従事者の高齢化や労働力不足に対応するため、機械等の共同利用の促進、地域の農地所有適格法人等への作業委託による効率化が必要です。
- 個々の創意工夫による多様な農業経営や地域づくりで重要な役割を果たす女性農業者の能力を生かす取り組みが必要です。

【今後の方向性】

- 《農業経営基盤の体質強化》
- 農協・農業改良普及センターとの連携による新技術の導入など、経営指導体制の強化を図ります。
 - 農作業の効率化と機械投資の低減のため、機械等の共同利用、地域の農地所有適格法人等への作業委託の活用を促進します。
- 《農業担い手の育成・確保》
- 農業後継者となる新規学卒者等の就農に向けた受け入れを推進し、就農後の経営安定に向けた支援などを行い、新規就農対策の充実を図ります。
- 《多様な担い手の確保》
- 農村女性が能力を発揮できるよう、女性の社会参画や経営参画に向けた意識啓発や環境づくりを推進します。
 - 障がい者などの就労機会の提供と生産者にとっての課題である人手不足を解消するため、農福連携を推進します。

③消費者との交流と食育の推進

【南幌町の課題】

- 南幌産農産物の多様化と新鮮さをアピールするとともに、農業への関心を深めるため、生産者と消費者との交流を促進する必要があります。
- 地元で採れた農産物を地域で消費する取り組みなど、食と農についての理解を深める機会を提供することが必要です。
- 生涯を通じて健全な食生活を営む能力を身につける「食育」を推進することが必要です。
- 観光や移住・定住に向けた取り組みにも、農業との連携が欠かせません。農産物を使った食のもてなし、農作業体験などを充実させていくために必要な連携、協力を行っていくことが必要です。

【今後の方向性】

- 《農産物の販路拡大と地産地消》
- クリーン農業を推進し、付加価値の高い食品づくりや販路拡大を促進します。
 - 都市住民に向けた効果的な情報発信に努め、新鮮かつ安全・安心な農産物の消流活動を推進します。
 - 学校給食などに地元農産物の積極的な利用を促進します。
- 《食の安全・安心の確保》
- YES!clean やエコファーマーなど各種認証表示制度への取り組みや定着化を推進します。
 - 消費者ニーズを意識した良質な農畜産物の生産を目指す取り組みを推進します。
- 《「食」と「農」が連携した食育の推進》
- 関係機関団体と連携し、児童生徒における農作業体験を通じた学習を推進します。

④環境と調和した活力ある農村の構築

【南幌町の課題】

- より安全・安心な農産物を安定的に生産・供給し、消費者の理解と信頼を得られるようなクリーンな農業を推進していくことが必要です。
- 農業系バイオマスを有効活用し、地域農業の振興と環境保全の取り組みが必要です。
- 防風保安林等の維持・保育のため、計画的な間伐や補植等を行い保全に努める必要があります。
- 農業・農村の有する多面的機能の維持、発揮のための地域活動や地域資源の質的向上が必要です。

【今後の方向性】

- 《農環境対策の推進》
- 家畜排せつ物を貴重な有機質資源として有効活用し、耕種農家と畜産農家との連携による循環型農業を推進します。
 - 農業用廃プラスチックなど廃棄物の適正処理を推進します。
- 《農村環境の総合的な整備》
- 農村地域における農業施設や農村景観の保全活動を実践することで持続可能な農村づくりを推進します。
 - 防風保安林等の機能維持のため、南空知森林組合から技術的支援や専門知識の供与を受け、植樹・間伐・保育等の適正な整備や維持管理を推進します。